

2018年合格目標
中上級コース

徹底比較

短答⇄論文

対策コース編

2018年合格目標 短答＋論文対策コース	基本データ			カリキュラム回数						学習時間			
	開講時期	学習期間	学習ペース	総回数	インプット	短答⇄論文 ハイブリッド講義	短答対策/ 論文対策	解法マスター	アウトプット	総学習時間	インプット 学習時間	解法マスター 学習時間	アウトプット 学習時間
● 上級本科生	6月・7月	12～13ヵ月	週1～2回	全95回	40回	25回	短答対策 10回 論文対策 5回	短答対策 1回 論文対策 10回	短答対策 19回 論文対策 25回	272時間	116時間	28時間	128時間
● 上級本科生Fast	10月	9ヵ月	週2～3回	全82回	31回	—	短答対策 19回 論文対策 12回	短答対策 — 論文対策 10回	短答対策 19回 論文対策 22回	226.5時間	81時間	25時間	120.5時間

上級本科生

VS

上級本科生Fast

の違い

TACの中・上級コースは、受験経験者専用で作成されたカリキュラムであり、弁理士試験合格に必要な知識が習得できるインプット講座、習得した知識を正しく得点に結びつける解法マスター講座、本試験に向けて、実践力を養っていくアウトプット講座で構成されています。

ここでは、短答と論文の同時合格を目指す2つの本科生の違いを紹介します。本科生を選択する際の参考にしてください。

①

開講時期が違う！

ここがポイント！

6月・7月開講	上級本科生
学習時間をより多く確保できる。	
10月開講	上級本科生Fast
秋から集中的に学習できる。	

6月・7月開講の**上級本科生**は、短答本試験まで実施していた学習ペースを維持したまま、継続して学習できます。また、多くの学習時間を確保できるので、いち早くライバルに差をつけることができます。

10月開講の**上級本科生Fast**は、集中的に学習できるカリキュラム構成のため、効率的かつコンパクトな学習をすることができます。

②

インプットが違う！

ここがポイント！

上級本科生
短答・論文を同時並行学習する 短答⇄論文 ハイブリッド講義
上級本科生Fast
受験経験者専用講義の 短答四法逐条講義・ 論文上級講義

上級本科生は、短答⇄論文ハイブリッド講義がカリキュラムに含まれます。短答と論文を同時並行学習することにより、知識の相乗効果が図れ、また基本的な論点から学習するため、基本知識を再構築することができます。

上級本科生Fastは、受験経験者専用に開発された短答と論文のインプット講義がカリキュラムに含まれます。多くの受験生が苦手としている論点や押さえておくべき論点を重点的に補強することができます。

③

アウトプットは共通！

インプット講義はそれぞれの学習状況によって違いがあるため、学習目的やレベルに合わせた形でカリキュラムを変えていますが、直前期に実施されるアウトプット講義は、**上級本科生**、**上級本科生Fast**ともに共通です。実施される答練や全国公開模試を受講することで、多くのTACのライバル内での正確な位置づけなど合格に必要な情報を把握することができます。そのため、アウトプットのカリキュラムは共通としています。

結論！

このような方に
オススメ

- 2018年短答と論文の同時合格を目指す方
- 学習時間を多く取りたい方
- 基本知識が不足している方

上級本科生

- 2018年短答と論文の同時合格を目指す方
- 2017年の短答本試験であと一歩だった方
- 集中的に学習したい方

上級本科生Fast